



●ポスト万博

名古屋市

市民経済局長 **杉浦 雅樹**

昨今の元気な名古屋を象徴するかのようには花咲き誇る春暖の頃となりました。最近では、名古屋の食文化やファッションなどが話題となり、当地域の好調さ、元気さが多くのメディアで取り上げられるなど、全国から注目を集めております。そうした中、2月には国際的なハブ機能を備えた中部国際空港「セントレア」が開港し、3月25日には、いよいよ「愛・地球博（愛知万博）」が始まり、連日盛況であります。「愛・地球博」は、21世紀最初の万博であり、環境への取組みを前面に出した記念すべき万博として、さらにはお年寄りから子供まで訪れる人全員が楽しめる万博として、後世に語り継がれるものと思っております。そして、万博のテーマである「自然の叡智」と環境技術の成果は、これから東海地方、日本全国ひいては全世界に発信されていくものと確信しております。また、名古屋城では「新世紀・名古屋城博」が開催されています。21年ぶりに天守閣から地上に降り立った「金シャチ」に実際にこの手で触れることができ、こちらは大勢の皆様楽しんでいただいております。

名古屋は、徳川家康の名古屋城築城を機に形成された街で、今日でも、近世武家文化が日本で最も色濃く残っているところであります。本市では、築城開始400年にあたる2010年に名古屋城本丸御殿の復元過程の公開を旨とし、「基金」を創設し、建設着工への道筋

をつけたいと思っております。こうした名古屋城築城以来のモノづくりの技術や、「愛・地球博」で上がる名古屋の知名度を生かし、万博終了後、いわゆるポスト万博における次の時代の名古屋の発展を創出すべく「名古屋市産業活性化プラン」を策定しました。

この「プラン」では、名古屋市産業の大きな“飛躍＝ビッグバン”を引き起こすべく5つの事業の推進を謳っております。技術に係わる場所では、なごやサイエンスパーク事業を推進し、産学官共同研究を進めるとともに、次代のリーディング産業となりかつ万博のシンボルでもある環境技術の研究を推進します。また、ビッグバンの土台となる中小企業、基盤技術産業の技術力アップを旨とします。特に名古屋市工業研究所では、研究員が積極的に企業の現場に出向いて、中小企業の技術相談を受け、技術的な課題を把握し、各企業の実情に合わせ技術指導、依頼試験などきめ細かに対応します。

今後の地域活性化に向け、また希望あふれる新時代創成に向け、ポスト万博事業を皆様とともに実現していきたいと思っておりますので、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。その折には、名古屋市工業技術振興協会ならびに名古屋市工業研究所をはじめとする名古屋市の機関を今まで以上にご利用いただけるよう重ねてお願い申し上げます。